

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年4月7日（金）17:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから4月7日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。お手元の広報日程に沿って説明いたします。

まず、来週の日程ですけれども、来週は水曜日に、終日、法案の国会審議があると見込まれていますので、委員会の定例会は火曜日に前倒しになっています。

議題は6つあります。

議題の1つ目が、伊方3号機の設置変更許可の審査結果の取りまとめ、標準応答スペクトルの件ということで、伊方3号機標準応答スペクトル、震源を特定せず策定する地震動によって基準地震動が追加になるという形の許可申請が出ていたものであります。その審査結果の取りまとめについて諮るということになります。了承されれば、関係行政機関の意見を経て許可をするということになります。パブリックコメントをするかどうかは委員会で決められる予定です。

議題の2つ目が、炉安審・燃安審の委員の任命ということです。

一部の委員の任期が、任期は2年なのですけれども、今年の6月に来ますので、新しい委員の任命を決定するというものになります。

議題の3つ目が、放射線審議会委員の任命ということで、こちらも一部の委員の任期が今年の6月に2年の任期を迎えますので、新しい委員を決定するというものになります。

議題の4つ目ですけれども、令和4年度の放射線審議会の開催状況ということで、これは毎年1回これぐらいの時期に、昨年度の放射線審議会の開催状況を報告するというものになります。昨年度は3回開催されまして、ICRP（国際放射線防護委員会）の勧告の取り入れ状況とか自然起源放射性物質への対応状況といったようなことを行いましたということを報告します。

議題の5つ目が、令和4年度の年次報告の骨子ということですけれども、年次報告、いわゆる白書のようなものですけれども、その概要、骨子の了承を求めるというものになります。今回、骨子の了承を受けまして、5月下旬の委員会で本文を決定するというものになります。

議題の6つ目が、日本原燃からの査察対象区域での全消灯事案についての報告への評価と対応ということです。

これは1月28日に、この全消灯という事案がありまして、2月22日の委員会で日本原燃に報告するように求めていたものですが、その後、3月22日に報告書の提出がありまして、今回はその報告への評価と今後の対応ということを議論するものになります。結論としては、検証不十分な部分があるので、再提出してくださいというものになる見込みです。

来週は臨時会議が3件あります。

まず、1件目が(2)のところですが、4月11日火曜日の午後に日本原電の経営層との意見交換があります。今週の委員会の議題にもなっていましたけれども、敦賀2号機の件で早速開催するということになります。対面で開催されます。

次は、(3)ですが、これは核物質防護の案件なので非公開ということになります。

議題は2つで、IPASS（国際核物質防護諮問サービス）ミッションの受入れの準備状況と、柏崎刈羽の追加検査の状況の報告ということです。

次の(4)が、これは4月14日の金曜日の午前中、これも今週の委員会で開催することになっていました日本原燃の経営層との意見交換ということになります。議題は、設工認の申請書に誤りが多かったという点についてということです。こちらも対面で開催ということになります。

次が、2ページの4月11日の(3)のところですが、委員長の記者会見ですが、委員会は来週の火曜日に行いますので会見も火曜日ということになります。

火曜の午後一には、先ほど紹介した原電の経営層との意見交換があるので、会見の時間は、通常より1時間後ろに倒れて15時半ということになっています。これに伴いまして、来週火曜日は報道官のブリーフィングはないということになります。

次は、4月13日の(4)シビアアクシデント技術評価検討会。

これは、安全研究プロジェクトの評価をするという会議ですが、昨年度終了した2つのプロジェクトの事後評価と、今年が中間年度となる1つのプロジェクトの中間評価をするものになります。

次が、3ページ目ですが、4月13日の(5)第1135回審査会合です。

議題は4つありまして、1つ目は関西電力関係、美浜と高浜と大飯の設工認と保安規定ということで、これは先週の委員会議題になっていましたけれども、火災防護対象ケーブルの系統分離対策ということで、これは3月31日に申請があったもので、今回は初回ということになります。

2つ目は、泊3号機の新規制基準の許可ということで、これは前回3月30日でしたが、それに引き続き重大事故対策などのまとめ資料についてということです。

3つ目は、女川2号機の設工認ということで、案件は弁の取替え工事という案件だそうです。

次が、4つ目ですが、浜岡の保安規定で、これは線量計を新しいものに変えると

いう案件でして、2月21日に申請があったものということのようです。

次が、4月13日の（6）高経年化の安全規制に関する検討チームの4回目です。

議題はこれまでどおりですけれども、最初に、また事業者を呼んで意見交換というのがありまして、あとは前回3回目とか、今週の委員会で宿題になったものの報告といったようなものがあります。

次が、4月14日の（7）1F（福島第一原子力発電所）の監視・評価検討会ですけれども、議題は6つありまして、1つ目は、毎年東京電力がこの時期にまとめている廃炉実行プランの説明です。

2つ目は、今週の委員会の議題にもなっていましたけれども、分析体制の強化について、エネ庁と東電から説明があります。

3つ目は、リスク低減目標マップで強調されていた固形状の放射性物質を今後どうするかという点について、規制庁の側から考え方を示すというものになります。

4つ目は、ALPS（多核種除去設備）の審査・検査の状況の報告と、東京電力からタンクの水のリークについて、その原因と対策の説明があるということです。

5つ目は、1号機の格納容器の内部調査の東京電力からの報告。これは既に東京電力から発表済みのものですが、この場でも改めて報告されます。

6つ目は、先日まとめられました事故分析の中間取りまとめの報告ということになります。

次が、4ページ目ですけれども、4月14日の（8）第1136回審査会合です。

議題は1つで、九州電力関係、川内1・2号機と玄海3・4号機の審査会合資料の品質保証ということで、これは標準応答スペクトルの議題の審査会合の資料の誤りというのがあります。これは前回3月17日に同じ議題で議論しましたが、そのときの宿題への回答ということになります。

次は、4月17日の（10）輸送、貯蔵の容器に関する審査会合です。

議題は1つで、三菱重工の貯蔵容器の型式指定ということで、これは4月3日に申請があったもので、今回初回ということです。

最後が、4月17日の（11）プラント安全技術評価検討会。

これは先ほどもありましたけれども、安全研究プロジェクトの評価をするというもので、1つのプロジェクトの事後評価ということになります。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございます

た。

—了—